

リウマチ腎臓内科（旧；内科）に、過去に通院・入院された患者さんまたは  
ご家族の方へ  
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 全身性強皮症に伴う肺動脈性肺高血圧症症例におけるプロスタグランジン I 受容体（IP 受容体）作動薬の抗線維化効果に関する研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院リウマチ腎臓内科・教授 渥美 達也

[研究の目的] 難治性の病態である強皮症における間質性肺炎について、肺高血圧症に対して内服している肺血管拡張薬によって進行を抑制できるかどうかを評価すること。

[研究の方法]

対象となる患者さん

2016年11月24日から2021年06月29日までの間に北海道大学病院リウマチ腎臓内科に通院または入院された患者さんで、全身性強皮症による肺高血圧症と診断され、肺血管拡張薬を内服していた方を対象とします。ただし、その他の合併症や治療経過により、担当医師が不適切と判断した患者さんは除きます。

利用するカルテ情報

この研究では、胸部単純CTをはじめ、採血、心臓超音波検査、呼吸機能検査等に関するデータを電子カルテから抽出し、利用させて頂くことがございます。抽出した情報は研究目的以外には使用せず、管理に関しても細心の注意を払いながら行って参ります。

[研究実施期間]

実施許可日～2025年9月30日（登録締切日：2024年9月30日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができません。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、そ

2023年7月24日

の際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院 リウマチ腎臓内科 担当医師 加藤 将

電話 011-706-5915 (免疫代謝内科学教室 医局)

011-706-5753 (リウマチ腎臓内科 外来)

011-706-5841 (リウマチ腎臓内科 病棟)